



やんぱく通信

ただいま「やんぱく」では秋の企画展「長野原の旅と街道」を開催中。
珍道中の代名詞として知られる弥次さん喜多さんが、ここ長野原も旅していたことをご存知でしたか？
本展では、ふたりの旅を起点に、江戸時代後期の長野原周辺の街道や旅人を迎えた村々の様子、
町内唯一の関所とゆかりの品などをご紹介します。江戸時代の旅人の気分でお楽しみください！



スケジュール

詳細はHPでご確認ください。【お問い合わせ／お申し込み：0279-82-5150】

	特別展示・イベント	その他
10月	【令和7年度 秋季企画展】 「長野原の旅と街道」 ～弥次さん喜多さん長野原をゆく～ 好評開催中！ 11/30(日)まで 弥次さん喜多さんの旅を起点に、江戸時代後期以降の長野原を旅した人々や、街道・宿場の様子を紹介します	10/11(土) 10/25(土) 【ワークショップ】 「和綴じ豆本をつくろう」 『続膝栗毛』の本文で和綴じの豆本をつくります
11月	【フィールドワーク】 「草津道探検隊」 11/15(土) 現在は廃道となっている長野原と草津を結ぶ旧街道跡を歩きます	11/1(土) 【今年も出展！】 「長野原町文化祭」 ＜会場：若人の館・運動場＞ 縄文人のアクセサリー、勾玉のペンダントをつくりました！
12月	満員御礼！	

施設案内

開館

9:00～16:30
(最終入館 16:00)

休館日

水曜日
※水曜が祝日・振替休日の場合はその翌日
※年末年始

入館料

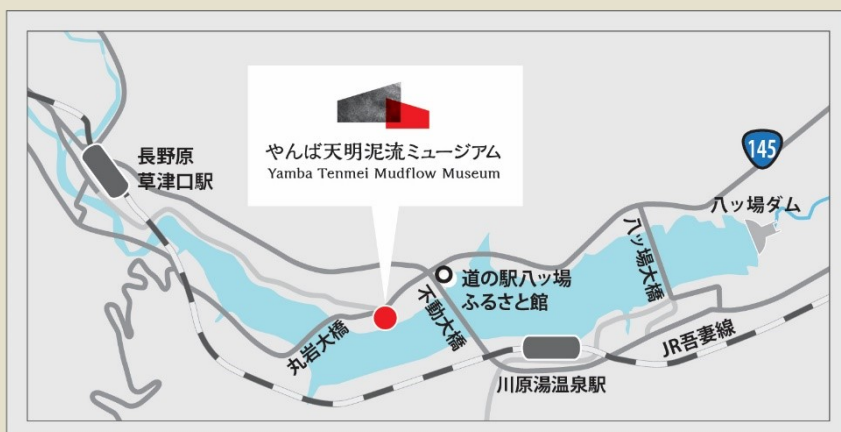
一般：600円 (500円)
小・中学生：400円 (300円)
※()内は15名以上の団体割引料金 ※町民無料

お問い合わせ

TEL:0279-82-5150 FAX:0279-82-5152
群馬県吾妻郡長野原町大字林1464-3

アクセス

周遊バス「ハッ場ぐるりん」もご利用ください



天明泥流下の石川原遺跡(川原湯地区)から、絵の描かれた6枚の木札が見つかりました。木札にはそれぞれ笠・蓑・鍵・宝珠・^{ほうじゅ ちょう}丁字・小槌の「宝尽くし」の絵柄が描かれています。調べてみるとこれは「六角独楽」^{ろっかくごま}という六面体のコマの付属の絵札であることがわかりました。同じ場所からはコマの軸の部分も発見されています。本来はコマの面にも同じ絵柄が描かれており、コマを回し、あらかじ

め賭けた絵札と同じ面が出れば勝ちとなる賭けコマの一種です。当人たちは必死だったかもしれませんが、大の大人がかわいらしいコマを回して賭け事に興じていたシーンを思い浮かべると、なんだかほのぼのとしてしまいます。(藤野)



※企画展にて展示中

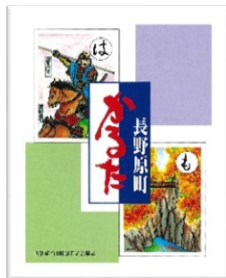
ミュージアム
私のイチオシ!



加部 志津枝
(ミュージアム職員)

『長野原町かるた』をご存知ですか。

<浅間路の旅人守った丁杭観音>は天明の大噴火でわからなくなった道に観音様を置き、道しるべとして旅人達を助けたとのこと。その後町は徐々に復興を遂げ、38年後に刊行された弥次さん・喜多さんが登場する十返舎一九『続膝栗毛』には、元の賑わいを取り戻した町の様子が生き生きと描かれ



ています。現在開催中の企画展では、その『続膝栗毛』を特集しています。他にもかるたには天明に関する札があります。秋の夜長、一枚一枚かるたの意味をかみしめながら過ごしてみたいはいかがでしょうか。



活動報告

夏休みイベントを開催しました

今年の夏休み期間、当館では様々なイベントを開催しました。今年初開催の体験学習「カオなくん土偶をつくろう」では、当館のアイドル、顔のない不思議な土偶をモチーフにオープン粘土でレプリカを作成。小学生から大人までそれぞれに個性的な作品を完成させました!「ナイトミュージアム」や、町図書室と連携したクイズスタンプラリーにもたくさんのご参加ありがとうございました。



お知らせ

ミュージアムショップに クリアファイル新登場!

当館のオリジナルグッズに新しくクリアファイル2種が加わりました。「カオなくん土偶」と「天明噴火と江戸の暮らし」、どちらも両面印刷で厚みのあるタイプです。

お土産に
ぜひお求め
ください!

